

# 特別賞(アーバンリフレッシュ賞)

## 都市計画道路 周防町通線道路改良事業

(表彰対象者：大阪市建設局)

### 表彰の理由

歩道の拡幅、キャブ設置により安全で快適な歩行者空間を創設するとともに、都市景観形成に貢献した。  
また、設計計画段階から地元で組織する委員会の協力によりグレードアップされた道路として整備された。

### 事業のあらまし

周防町通線は、大阪を代表する都心商業地区「ミナミ地区」の中心を東西に走る地区内幹線道路であるが、人通りが多い割に歩道が狭く、電柱や架空線が幅轍し、都市景観を著しく損っていた中、地元から景観整備が強く求められていた。このため昭和58年度、建設省の都市景観形成モデル事業に採択されたのを機に、歩道拡幅により歩行者の安全性を確保するとともに電線の地中化を行い都市景観の形成を図った。

- 延長：1,400m
- 幅員：12.8m
- 事業費：640百万円（平成4年度まで）
- 事業実施期間：昭和61年1月～平成6年7月



整備後のヨーロッパ村。電線類の地中化、歩道の美化が計られ、美しい街に生まれかわりました。



路上には電柱や架空線及び標識類が幅轍して、安全性、快適性及び利便性が著しく阻害されていた。



車道と歩道の境界には、円柱の自然石をイメージした車止めを設けました。



整備後のアメリカ村。本区間は、明るく、自由でのびのびしたイメージをもとに整備しました。



植樹枠にはハナミズキ（高木）とヒメリウノヒゲ（地被）を、プランターには四季の草花を植えています。



街角部の歩道上に、白頭ワシをデザインした象眼細工を設け、楽しく歩けるようにしています。

### 事業遂行上の工夫

歩道の拡幅、キャブ設置により安全で快適な歩行者空間を確保し、地元組織の委員会と協力し、整備の方針について話し合い、沿道の特色ある街などにマッチし、これから街のあるべき方向へ誘導するよう景観の演出を行った。